

平成28年度 愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究大会

8月19日(金)ウィルあいちにて研究大会が開催されました。式典、地区別研究発表を行い、午後からは、大阪府で行われた全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会などの伝達講習、食育講演会を行いました。

食育講演会には、JA愛知中央会様・JA蒲郡市様をお招きし、10年間にわたる本協議会との食農体験研修を通して、第3次愛知県食育推進計画の学校給食における地場産物活用率について、目標値達成の一助となるお話をいただきました。

式典

愛知県教育委員会 保健体育スポーツ課 健康学習室 室長 黒沢 正行 様はじめ、県小中学校長会、公益財団法人愛知県学校給食会、愛知県高等学校学校給食研究協議会、愛知県特別支援学校長会等、多くのご来賓のご臨席をいただきました。

地区別研究発表

*海部地区

「食を大切にできる児童生徒の育成を目指して
—学校・家庭・地域の連携による食育推進を通して—」

*東三河地区

「食べ物や食事を大切にすることができる子どもの育成
—「食」に関して感謝の気持ちを深める実践を通して—」

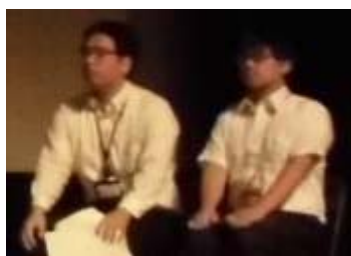
*特別支援学校

「発達段階に応じた食に関する指導の取組
—障害を克服し、食生活の自立を目指して—」

指導講評では、愛知県教育委員会 保健体育スポーツ課 健康学習室 主査 浅井 大司 先生より「今、食に注目が寄せられており、食育を推進しやすい環境である。今回の研究発表の取組を、自分の学校に合わせて実践に生かしてほしい。」とのご指導をいただきました。



食育講演会



「JAグループ愛知の食と農の取り組み」「JA蒲郡市の事例」と題して、JA愛知中央会 地域振興部 調査役 山邑 英之 氏・JA蒲郡市 販売部 販売企画課 伊藤 一弥 氏より講話がありました。

「地域農業の意義を理解してもらうため、教育現場との連携等、様々な取組をしている。蒲郡市においては、蒲郡温室みかんをはじめ、多くの農産物で地産地消を進めている。各JAで特徴的な取組を行っているため、学校給食と連携して地産地消の輪を拡げたい」など有意義なお話で終了しました。



展示・ポスターセッション

研究発表地区をはじめ、スーパー食育スクールの取組や「愛知を食べる学校給食の日」の各地区取組リーフレット、本協議会が作成した食育資料等が展示されました。

今年度は、ポスターセッションを行い、興味深く質疑応答する多くの会員たちで賑わいました。

